

平成 31 年度	前期長期研修	教科・領域	小学校・国語
テーマ	必要な情報を自ら選ぶ力を育む説明的文章の授業づくり		
サブテーマ	情報の扱い方に着目した対話的な学びを通して(第2学年)		
概 要	課題	教師 教科書教材での学びを自力での読みにいかせない 児童 全国学力・学習状況調査の結果より「知識」の設問に課題 社会背景 自分の目的に合った情報を取捨選択する力が必要	
	手立て	①情報の扱い方を組み込んだ単元構想 ・「読むこと」に「情報と情報との関係」を組み込む ・三つの教材を扱い、螺旋的・反復的な学習を展開 ・ねらいの明確化、内容の焦点化、指導の具体化 ②自らの問いを対話的な学びで解決する授業の工夫 ・対話的な学びを成立するためのコミュニケーション能力 ・対話的な学びを成立するための学習課題 ・対話的な学びを成立するための思考の可視化 目的に応じて必要な情報を自ら選ぶことのできる児童 必要な情報を使って自分の考えを伝えることができる児童	
キーワード	必要な情報を自ら選ぶ力 情報と情報との関係 螺旋的・反復的な学習 対話的な学び		
イメージ図			
【課題】 複数の情報を結びつけて理解すること 学習内容の定着が図れない授業形態			【児童像】 目的に応じて、必要な情報を抜き出すことができる児童 考えを伝えることができる児童
成 果			
○情報の扱い方を組み込んだ単元構想を行い、焦点化した学習活動を繰り返すことによって、児童が学習方法を理解し、必要な情報を抜き出す児童を育むことができた。 ○他の植物も知りたいという自らの問いをペアやグループでの対話を通して、協働しながら解決することで、必要な情報を使って自分の考えを伝える児童を育むことができた。 ○知識・技能の内容を読むことの学習に組み込んだ単元を構想したことで、知識・技能の内容を思考・判断・表現を組み合わせる授業を作る重要性を再認識した。			

